

関西経済レポート（7月号）

- ➡ 勢いは幾分減速したものの、前月に引き続き生産の上昇傾向が続く。
- ➡ 円安の影響を受け、輸出は4カ月連続の増加。アジア、米国に加えてEUも増加に転じた。
- ➡ 消費者センチメントは前月から低下。先行き不透明感が増している。
- ➡ 個人消費は持ち直している。住宅は好調を維持している。
- ➡ 労働市場は引き続き改善傾向にある。
- ➡ 公共投資・建設工事ともにプラス基調が続く。
- ➡ 中国4-6月期の成長率はさらに減速。工業生産とPMIも低調が続く。

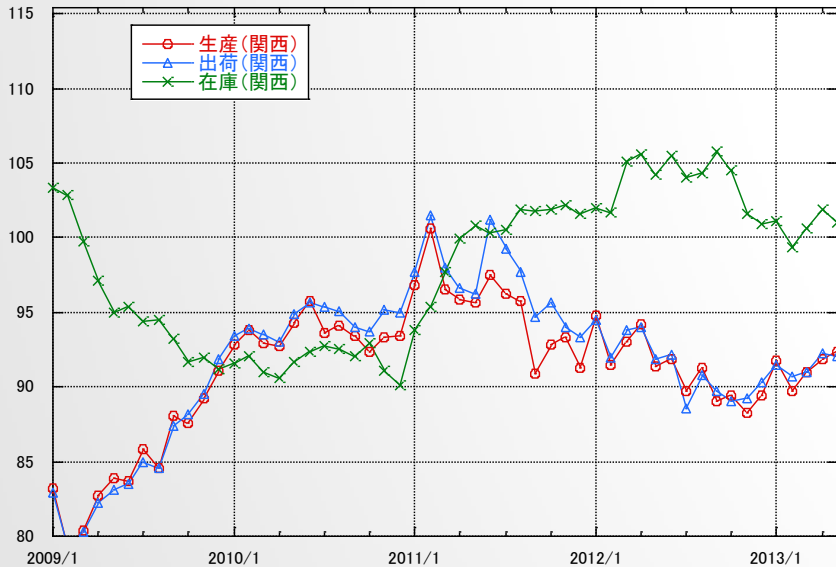
※「近畿」・「関西」は、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県。
鉱工業生産、大型小売店販売額のみ、福井を含む2府5県。

～目次～

生産	1
輸出入	2
消費者センチメント	3
個人消費・住宅	4
雇用	5
公共投資	6
中国経済動向①	7
中国経済動向②	8

～生産～

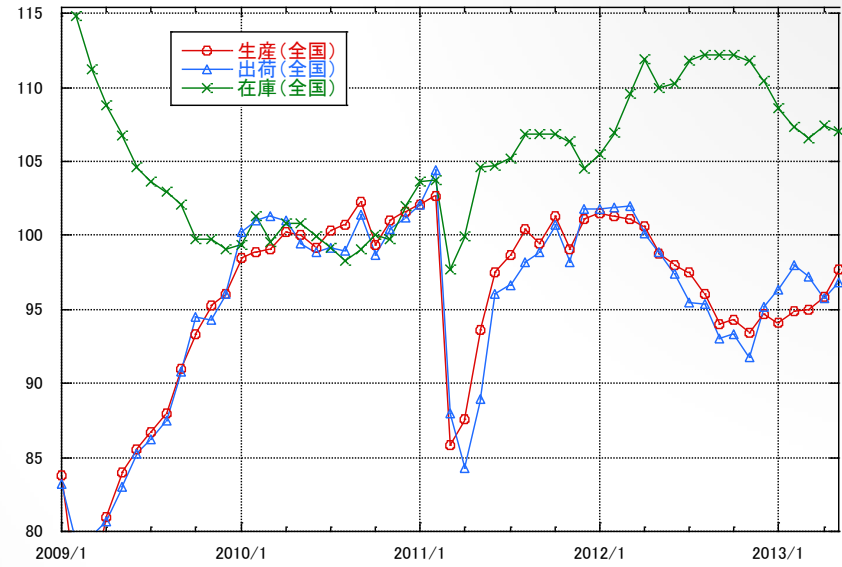
鉱工業指数の推移(近畿・2013年5月まで), 2005年=100



(データ出所: 「近畿地域鉱工業生産動向」 (平成25年7月25日公表分)、
近畿経済産業局)

- 近畿における5月の鉱工業生産指数(確報値: 季節調整済)を見ると、生産は92.4で前月比+0.5%と3カ月連続の上昇、出荷は92.1で同-0.2%、在庫は101.0で同-0.9%といずれも3カ月ぶりの下落。
- 業種別にみると、一般機械工業、電気機械工業、石油・石炭製品工業等の生産が上昇し、一方で、化学工業(除医薬品)、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業(除鋼船・鉄道車両)の生産が低下した。
- 前月に引き続き生産の上昇傾向が続くも、勢いは幾分減速。

鉱工業指数の推移(全国・2013年5月まで), 2010年=100



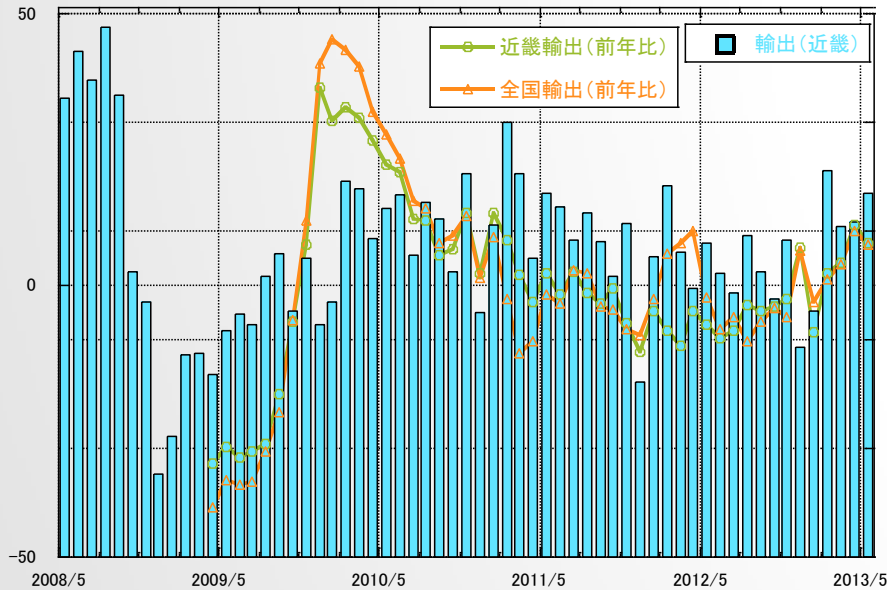
(データ出所: 「鉱工業指数」 (平成25年7月12日発表)、経済産業省)

- 全国における5月(確報値: 季節調整済)の鉱工業生産指数は、97.7で前月比+1.9%と4カ月連続の上昇、出荷は96.8で同+1.0%と3カ月ぶりの上昇、在庫は107.0で同-0.4%と2カ月ぶりのマイナスとなった。
- 全国では業種別に見ると、はん用・生産用・業務用機械工業、電気機械工業、電子部品・デバイス工業等の生産が上昇した。一方、輸送機械工業、その他工業、鉄鋼業で生産が低下した。
- 生産は回復傾向が続いているが、製造工業生産予測調査によると6月は前月比低下(-2.4%)、7月は上昇(+3.3%)が見込まれている。

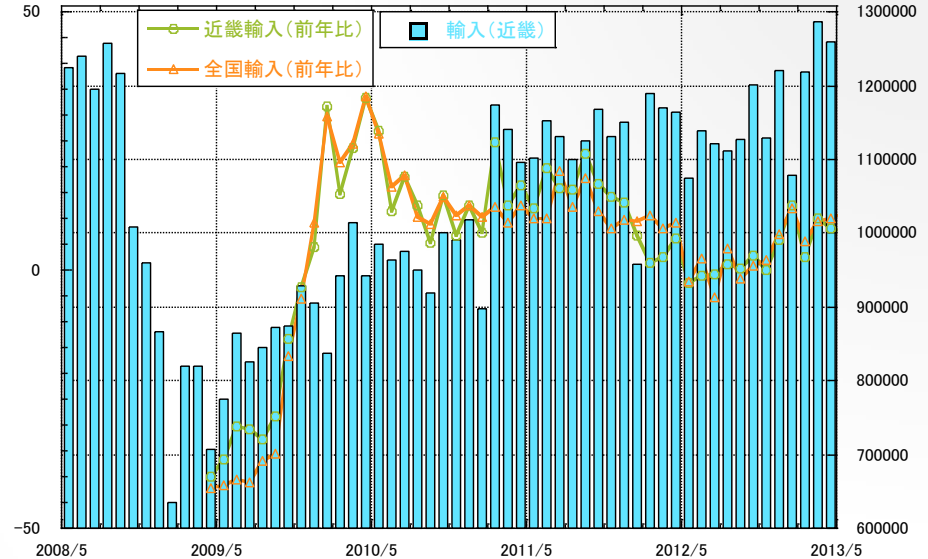
～輸出入～

輸出 (右、100万円) ・ 前年同月比 (左、%) (2013年6月まで)

輸入 (右、100万円) ・ 前年同月比 (左、%) (2013年6月まで)



(データ出所: 「大阪税関貿易速報資料: 近畿圏」 (平成25年6月分 (速報値)、7月24日発表)、大阪税関調査統計課)



(データ出所: 「財務省貿易統計」 (平成25年6月分 (速報値)、7月24日発表)、財務省)

- 近畿圏における6月の輸出額 (速報値) は1兆2,700億円、前年同月比+7.9%と4カ月連続の増加となった。
- 半導体等電子部品、鉱物性燃料、科学光学機器が前月に引き続き大幅に増加。
- 全国の6月の輸出額 (速報値) は6兆614億円、前年同月比+7.4%と4カ月連続の増加。円安の影響もあり、輸出は近畿、全国共に引き続き大幅に改善してきている。
- 地域別では、アジア (前年同月比+8.6%、4カ月連続)、中国 (同+3.1%、4カ月連続)、米国向け (同+12.3%、6カ月連続) 輸出が増加しており、EU向け (同+7.4%) は3カ月ぶりに増加に転じた。

- 近畿圏における6月の輸入額 (速報値) は1兆1,517億円、前年同月比+7.2%と6カ月連続の増加。
- 衣類及び同付属品、天然ガス及び製造ガス、半導体等電子部品が大幅に増加。
- 全国の6月の輸入額 (速報値) は6兆2,422億円、前年同月比+11.8%と8カ月連続の増加。

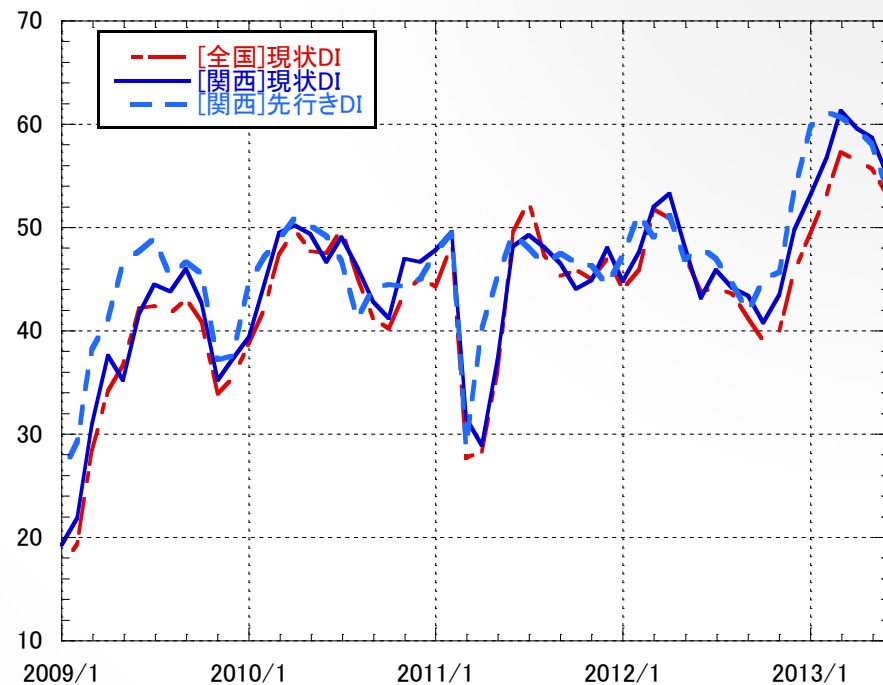
～消費者センチメント～

消費者態度指数(原数値、2013年6月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成25年7月10日公表)

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性、2013年6月まで)



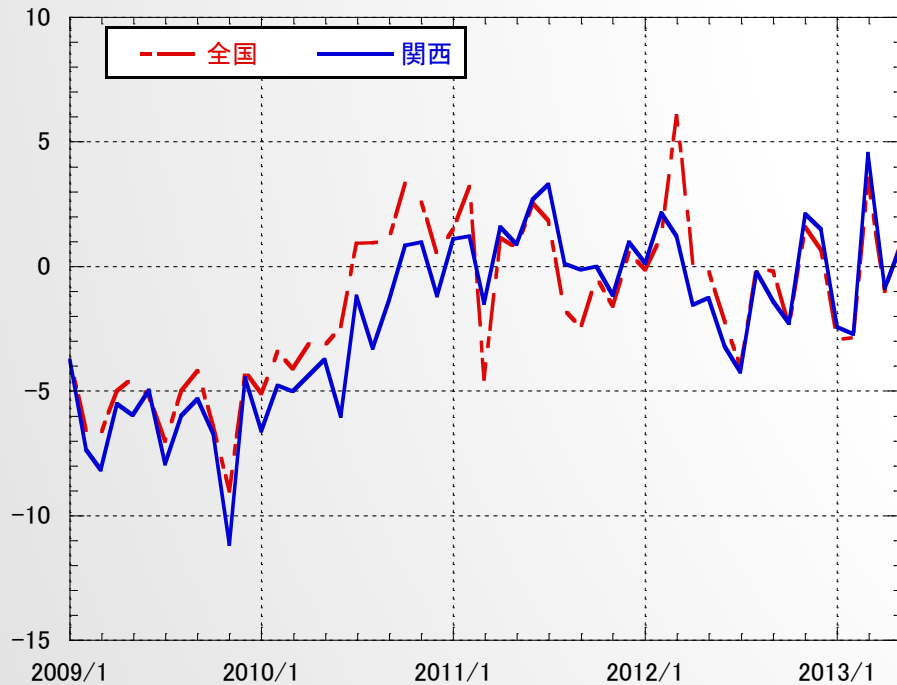
(出所) 内閣府(平成25年7月8日公表)

- 関西の6月の消費者態度指数(原数値)は前月比-1.5ポイント下落の44.5。6カ月ぶりのマイナス。
- 内訳をみると、「雇用環境」の落ち込みが同-3.3ポイント(7カ月ぶりのマイナス)と顕著。「暮らし向き」が同-0.6ポイント、「収入の増え方」が同-1.5ポイントといずれも2カ月ぶりに悪化。「耐久消費財の買い時判断」は同-0.4ポイント下落した(6カ月ぶりのマイナス)。
- 全国の6月の消費者態度指数(季節調整値)は44.3と同-1.4ポイント下落。
- 消費者態度指数は依然高水準が続いているものの、6月は関西・全国ともに前月から低下した。

- 関西の6月の現状判断DIは前月比-3.8ポイントの54.9と3カ月連続で低下。百貨店を中心に高額商品の売上げは好調だが、株価や為替の不安定な動きがマイナスに働いたようである。
- 全国の現状判断DIも、同-2.7ポイントの53.0と3カ月連続で低下。
- 関西の先行き判断DIは同-4.6ポイントの53.5と、4カ月連続で低下。ボーナス支給額の増加効果が期待されるころであるが、影響は一部にとどまる。
- 全国の先行き判断DIも同-2.6ポイントの53.6と、2カ月連続で低下している。

～個人消費・住宅～

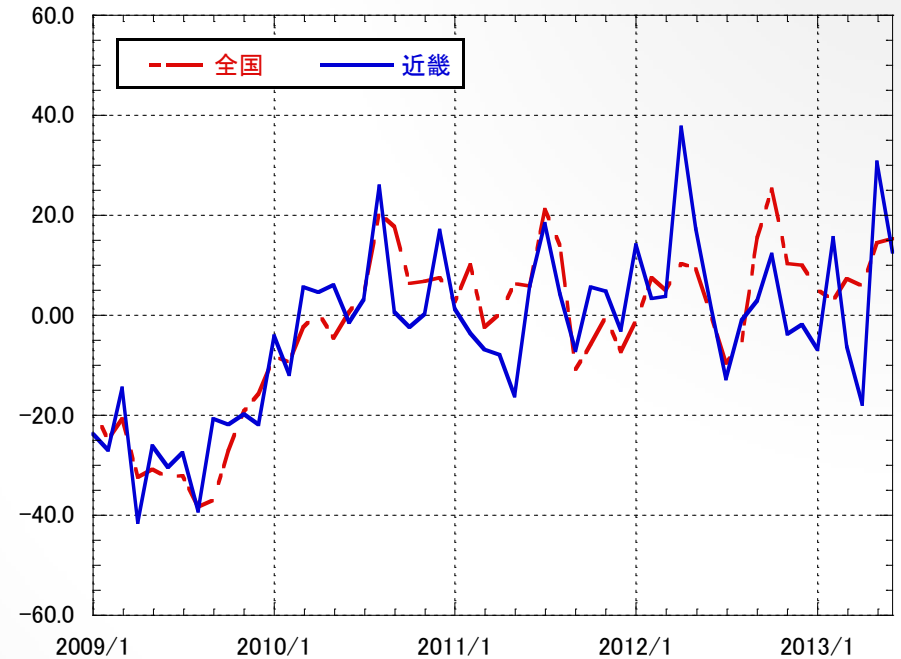
大型小売店販売額（前年同月比：％、2013年5月まで）



(注) 福井県を含む。
(出所) 近畿経済産業局(平成25年7月3日公表)

- ・ 関西の5月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+0.8%と2カ月ぶりのプラス。
- ・ 百貨店は同+3.5%と7カ月連続のプラス。一部店舗の増床・リニューアル効果に加え、気温の上昇に伴い季節商品が活発に動きだした(近畿経済産業局)。
- ・ 全国の5月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+0.9%。2カ月ぶりのプラス。
- ・ 6月13日にはあべのハルカス近鉄本店が開業し、消費者態度指数の悪化は見られるものの、引き続き、関西の消費には期待が持てる。

新設住宅着工(前年同月比：％、2013年6月まで)

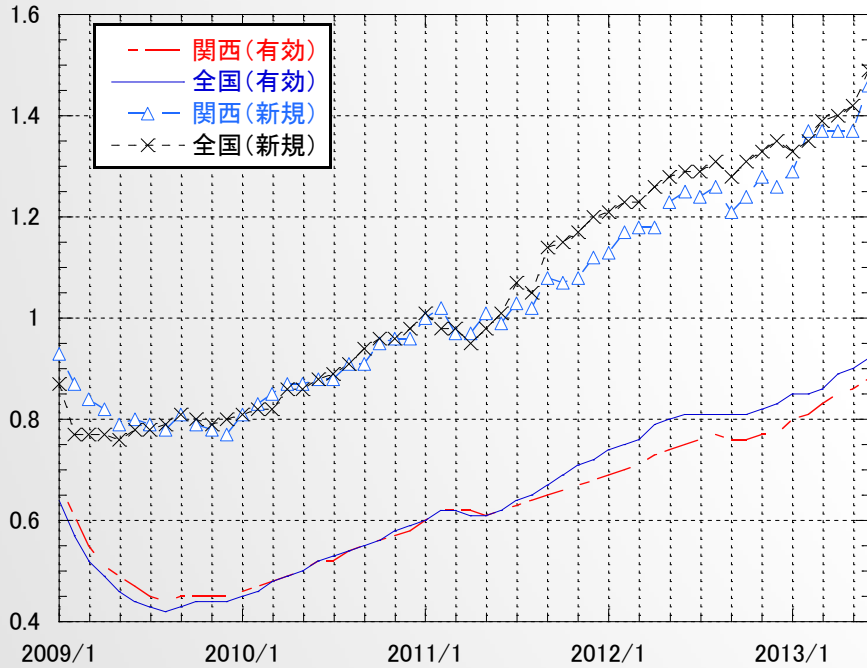


(出所)：国土交通省「住宅着工統計」(平成25年7月31日公表)

- ・ 6月の新設住宅着工戸数は12,215戸。前年同月比+12.6%と2カ月連続で上昇。利用関係別にみると、分譲が同+52.6%、うちマンションが同+157.2%と大幅に上昇。持家は同+8.8%。貸家は同-13.1%と低下。
- ・ 全国の新設住宅着工戸数は同+15.3%。10カ月連続で上昇。
- ・ 6月のマンション契約率(出所：不動産経済研究所「マンション市場動向」)は75.9%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安とされる70%を16カ月連続で上回る。
- ・ 消費増税による駆け込み需要・相続税制改正に伴う節税対策の増加から、マンション市場は好調を維持している。

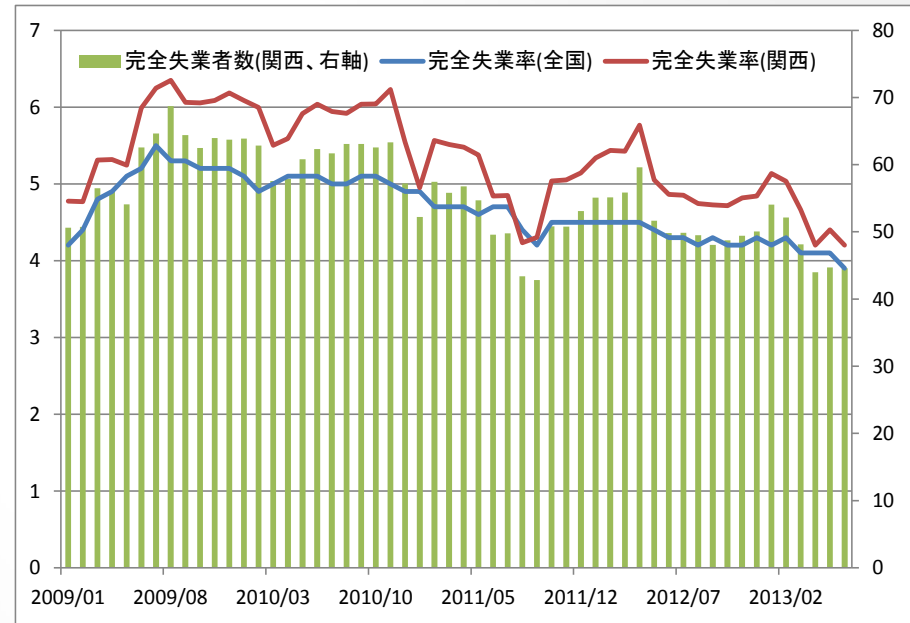
～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値、2013年6月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（季節調整値：%、2013年6月まで）



(出所) 総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率2013年6月

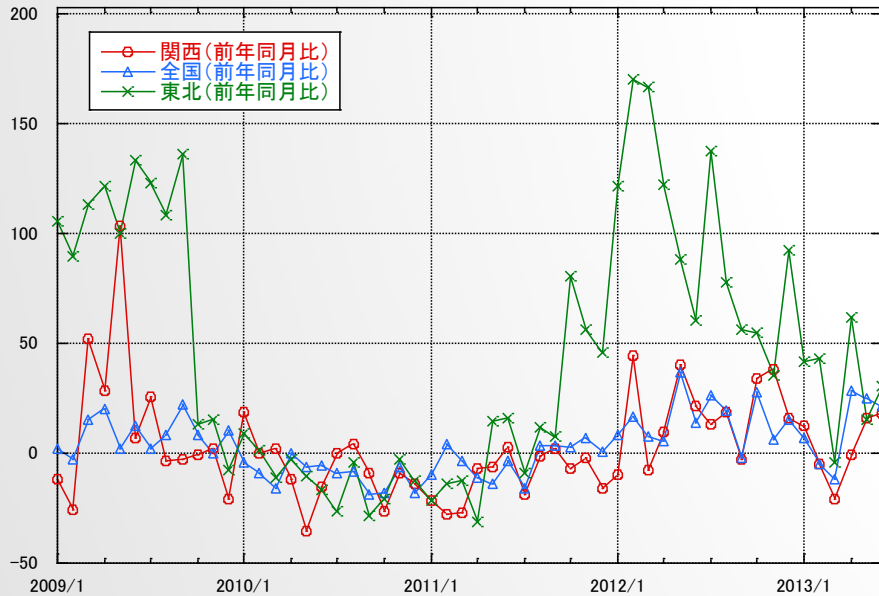
	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
6月	0.92	0.74	1.02	0.95	0.86	1.06	1.12	0.88	1.03	0.98	0.75
5月	0.90	0.70	1.01	0.91	0.85	1.02	1.11	0.86	1.02	0.95	0.74

- 6月の近畿の有効求人倍率は0.88倍、前月から0.02ポイント上昇。6カ月連続の改善となった。
- 全国は0.92倍で、同0.02ポイントの上昇。4カ月連続の改善となった。
- 地域別では、東海が1.12倍と高水準が続き、また北陸も1.06倍と高い。

- 6月の近畿の完全失業率（季節調整値：APIR推計）は前月から0.2%ポイント低下し、4.4%となった。2カ月ぶりの改善である。
- 6月の近畿の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は44.6万人。前月から0.1万人の減少で、2カ月ぶりの改善。
- 6月の全国の完全失業率（季節調整値）は3.9%に低下し、4年8カ月ぶりの低水準となった。

～公共投資～

公共工事前払保証額(前年同月比:%、2013年6月まで)

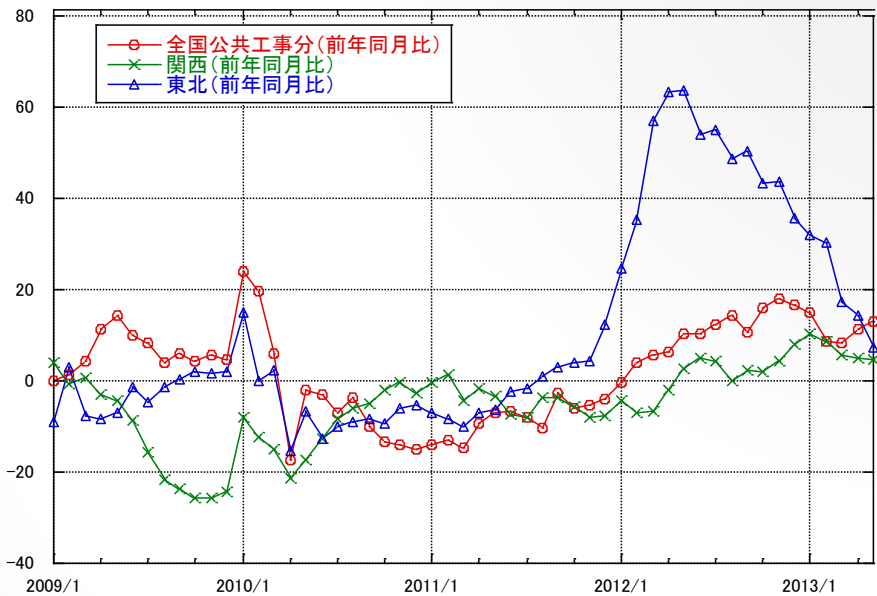


(注) 福井県を含む。

(出所) 「公共工事前払金保証統計」(平成25年6月分、7月10日発表)、東日本建設業保証株式会社

- 6月の関西の公共工事前払保証額は1,506億円となり、前年同月比+17.8%と2カ月連続のプラス。
- 全国は1兆3,868億円、同+21.7%と3カ月連続のプラス。
- 東北は2,218億円、同+30.7%で3カ月連続のプラス。
- 季節調整値(APIR推計)で見ると、6月の受注は関西、全国とも前月比で3カ月ぶりの下落(関西:-12.2%、全国:-11.8%)。

建設工事(前年同月比:%、2013年5月まで)

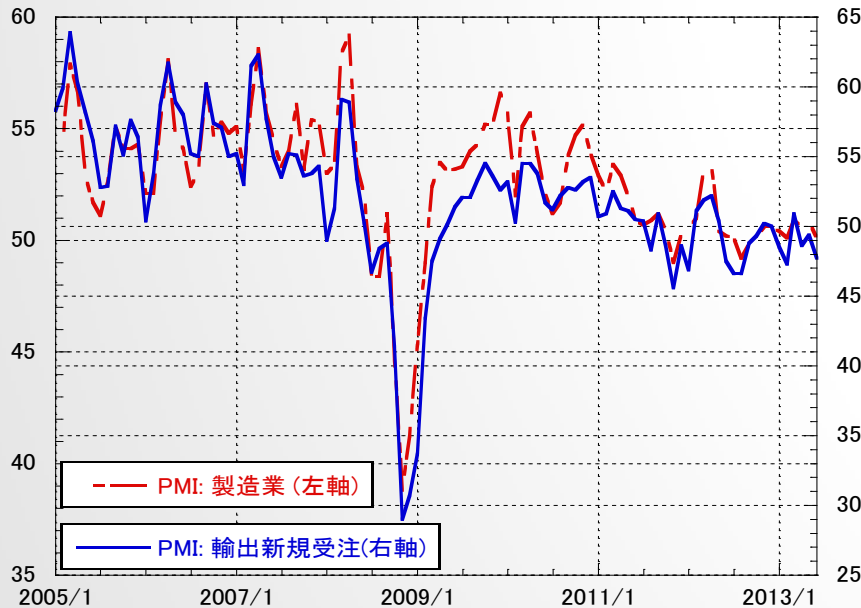


(出所) 国土交通省「建設総合統計」(平成25年5月分、7月17日発表)

- 関西における5月の建設工事(民間+公共)は4,261億円。前年同月比+4.8%と13カ月連続のプラス。
- 東北の建設工事は3,465億円で、同+7.5%と22カ月連続のプラス。しかし、拡大幅は一昨年(2012)の11月以来の一桁となった。
- 同月の全国の建設工事(公共)は1兆1,898億円で同+12.9%と16カ月連続のプラス。

～中国経済動向①～

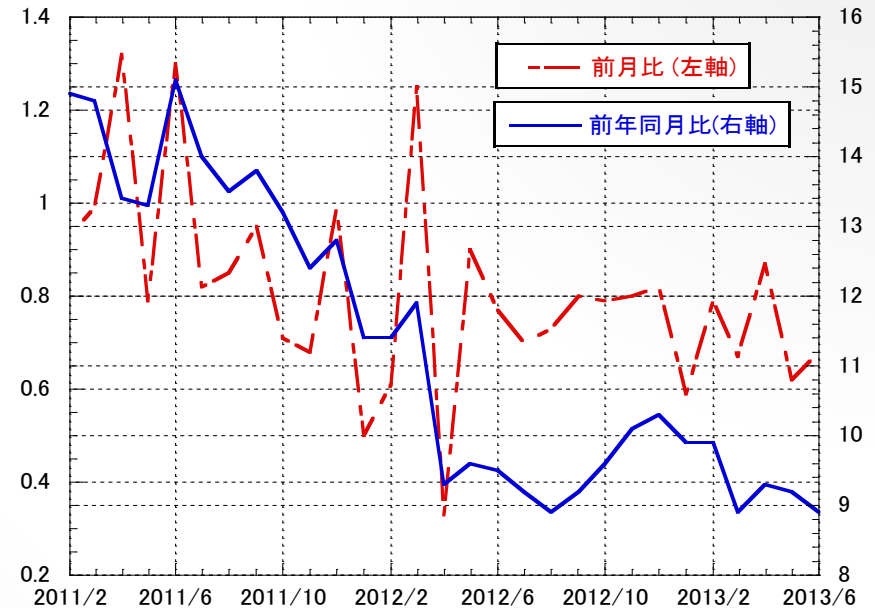
中国購買担当者景況指数(2013年6月まで：%)



出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 6月の製造業PMI(購買担当者景況指数: 季節調整値)は50.1となった。5月は0.2ポイント改善したものの、今月は-0.7ポイントと再び悪化した。
- 生産指数と新規受注指数はそれぞれ52.0と50.4となり、いずれも前月(53.3, 51.8)より低下。
- 輸出新規受注は47.7となり、5月(49.4)より低下した。2013年に入り、3月を除いて全ての月で50を下回っている。

工業生産動向(2013年6月まで：%)

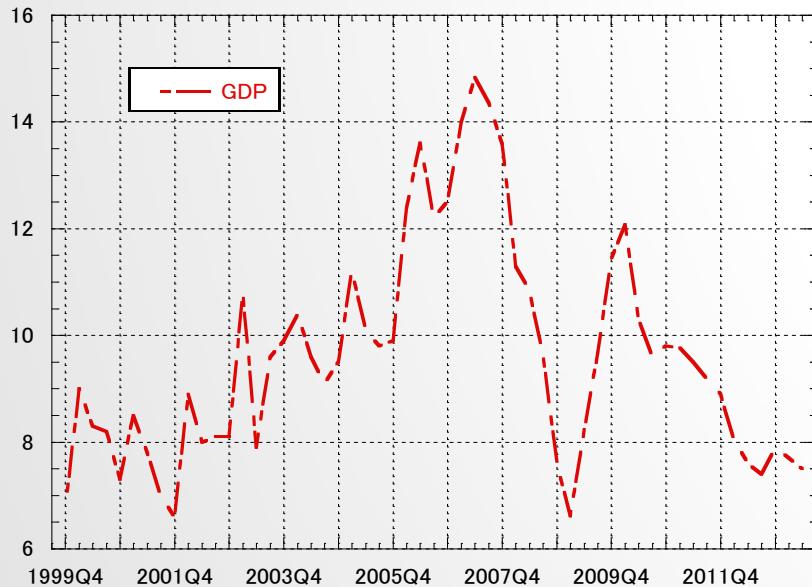


出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 6月の工業生産は前月比+0.7%となり、5月の同+0.6%からほとんど改善が見られない。
- 前年同月比では、6月は+8.9%となり、2カ月連続で減速している(4月9.3%、5月9.2%)。工業生産は引き続き低調である。

～中国経済動向②～

実質GDP成長率 (前年度同期比：%、2013年1-6月期まで)



出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 2013年4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比+7.5%となり、1-3月期の同+7.7%と比べてさらに減速。そのうち、第一次産業の成長率+3.0%、第二次産業は+7.6%、第三次産業は+8.3%となっている。
- 寄与率からみると、1-6月期の(累積)実質GDP成長率(7.6%)のうち、資本形成は53.9%となり、最終消費は45.2%、純輸出入は0.9%となっている。

求人求職倍率 (2013年第2四半期まで)



出所：中国労働市場情報観測センター; CEICデータベース

- 4-6月期の有効求人倍率は1.07になり、1-3月期より低下した。求人数と求職者数を見ると、求人数は前年同期比5.7%減少し、求職者数は7%減少した(94主要都市ベース)。
- 地域別に見ると、東部の求人倍率は1.04、中部1.09、西部1.13となっている。西部の労働需給は比較的堅調である。